

第1回 小牧市食育推進会議 議事録

日 時	令和4年5月27日(金) 14時00分～14時50分
場 所	小牧市役所本庁舎 4階 404会議室
出席者	<p><b>【委員】(名簿順)</b></p> <p>倉橋 伸子 名古屋経済大学 人間生活科学部 教授          夏目 有紀枝 名古屋経済大学 人間生活科学部 准教授          三輪 雅一 小牧市医師会 副会長          桜井 沙彩 尾張中央農業協同組合          佐藤 英治 尾張農林水産事務所 主幹          松浦 康子 小牧市食生活改善協議会 会長          石田 昭代 小牧市生活改善実行グループ連絡研究会 会長          藤本 佳代 一般公募</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>永井 政栄 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課長          岩下 貴洋 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係長          松浦 裕子 健康生きがい支え合い推進部 健康生きがい推進課健康政策係主査          林 泰博 教育委員会事務局 学校給食課長          稲垣 萌 地域活性化営業部 農政課          岩田 佳子 健康生きがい支え合い推進部 保健センター</p> <p><b>【欠席者】</b></p> <p>竹内 友康、森川 美千代、熊澤 嘉乃、齊藤 公彦、倉知 日出美</p>
傍聴者	0名
配付資料	<p>(資料1) 小牧市食育推進会議条例          (資料2) 令和4年度小牧市食育推進会議委員名簿          (資料3) 令和4年度食育に関する取り組み一覧          (資料4) 食品ロス削減推進サポーター制度について          (資料5) 第17回食育推進全国大会 in あいちチラシ</p>
<p>1. 開会</p> <p>2. 委員・事務局紹介</p> <p>資料1、資料2を元に説明。</p> <p>3. 会長・副会長選出</p> <p>会長は倉橋委員、副会長は夏目委員に決定。</p> <p>4. 議題</p> <p>(1) 令和4年度食育に関する取り組みについて</p> <p>・資料3を用いて各委員より説明。</p> <p>松浦委員)</p> <p>・資料3、9ページに書いてあるとおりですが、市内の小学校の家庭科の調理補助に入る予定ですが、コロナの影響により、現時点では今年も未定になっております。親子の食育教室については、今年中止になりました。生涯骨太クッキングとシニアカフェに</p>	

については 11 月頃ですので、何とか実行できる予定です。地区健康展の巾下地区と味岡地区で野菜の手ばかりをする予定です。また、11 月頃に行われる、幼児期のカルシウム摂取について子供たちに教える歯ピカピック、また、いきいきこまき（農業祭）の活動も、未定です。一番懸念しているのは、今年も小牧中学校と光ヶ丘中学校へ行き、中学生に食育を行う、ヘルスサポーター21、これも 12 月頃再開できるかどうか不明になっております。現在、パパママ教室で塩分測定を行い、妊娠期の塩分摂取が後から妊婦糖尿病や高血圧につながるということで、塩分測定をさせていただいております。また、皆さんご存じかもしれませんが、ヘルスメイトのおすすめレシピとして広報に年 6 回掲載しており、これは今年度も実行できます。ふれあいサロン、いきいきサロンへの参加については、今年もコロナの状況を見ないと何とも言えません。

・市民の方に健康への関心を持っていただくには対面の会話が一番ですが、コロナ禍において一番弱いところでもあります。一人一人が自分の持っている知識を周りの方に伝えていく方法を模索しています。ウィズコロナの時代を踏まえて、小学校の調理実習に参加できる道を探っています。

#### 事務局)

・資料 3、1 ページと 2 ページをご覧ください。市としての取り組みについてですが、まず 6 月は食育月間となっておりますので、6 月 17 日（金曜日）に、コロナ禍ということ配慮してドライブスルー型のフードドライブを実施する予定です。市内に今のところ 2 か所と聞いておりますが、子ども食堂の立上げや支援を関係機関とともに行っております。

・7 月に桃、8 月にブドウ、イチジク、梨を、11 月に農産物全体の品評会・販売会を行います。市民菜園事業といたしまして、引き続き藤島と池之内の 2 か所で市民菜園を行っております。6 月 4 日（土曜日）のバラ・アジサイまつりで、野菜研究会の方が作っていらっしゃる野菜を販売して、地元の野菜を広めていきたいと思っております。

・学校給食の関係ですが、給食だよりの発行や各学校の情報をホームページなどを通して啓発活動を行っています。学校給食における郷土料理や地場産物の活用について、6 月 17 日、あいちを食べる学校給食の日として、愛知県産の食材を使った給食を出す予定です。

・保健センターが主に取り組んでいる事業としまして、パパママ教室、離乳食教室、歯みがき教室など若い世代に向けた取り組みや、ヘルスメイトさんを養成するための家族の健康を考える食生活講座、健康日本 21 こまき計画推進部会の栄養・食生活部会を中心として、栄養・食生活に関する取り組みを行っております。

#### 事務局)

・続きまして資料の 3 ページですが、小牧市歯科医師会の竹内委員は本日ご欠席ということですので、事務局から報告をさせていただきます。今年度は、主に口腔機能発達不全症の周知を中心に活動していきたいと伺っております。

#### 桜井委員)

・資料 4 ページのとおりですが、例年どおり小牧市内の小学校で野菜栽培、田植え等の農収穫体験を予定しており、5 月上旬に 5 校で野菜栽培体験を実施しました。6 月 9 日

には三ツ渚小学校の田植えの稲作体験と6月下旬から7月上旬にかけて小牧市内2校の農収穫体験を予定しております。また、6月下旬から大豆栽培と豆腐つくりに向けて実施が始まります。小牧中学校では、桃農家さんから寄贈された桃を調理実習で活用いただきます。

・先ほど追加で配らせていただきました、親子で農業体験を今年度3回予定しております。7月に桃収穫、8月にブドウ、11月にミカンを予定しております。こちらは対象者が小学生ですので、身近にお子様がいらっしゃったらお声がけいただき、応募締切が6月15日までですので、ぜひご応募いただければと思います。

#### 佐藤委員)

・愛知県の取組みをご説明させていただきます。資料5ページをご覧ください。食育推進ボランティアの募集について、地域で食育の推進をしていただいております食育ボランティアの募集を行っており、5月下旬頃から募集していく予定です。

なお、各事業の「今後の課題・問題点」欄に、各種施策目標を記載しておりますが、県全体の食と緑の施策目標・基本計画として定めている「食と緑の基本計画」、尾張地域の食と緑の施策目標・基本計画として定めている「食と緑の基本計画 2025 尾張地域重点推進プラン」、食育基本法に基づく県の食育推進計画である「あいち食育いきいきプラン 2025」があり、このような形でそれぞれ目標数値を定めております。

・尾張地域食育ボランティア研修交流会については、先ほどご説明しました県の食育ボランティアの方々に対する研修交流会を毎年実施しているものになります。

・小学校の農林漁業体験学習の推進につきまして、毎年、市町、関係機関の皆様やボランティアの方々へ農林漁業体験学習の取組みの推進をお願いしております。農林漁業体験学習の導入について何か問題、課題等がありましたら、尾張農林水産事務所にご相談いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

・食育劇「食まるファイブ」上演の支援について、これは食事バランスガイドの内容を劇にしたようなものですが、小学校等への資材貸与等をしております。

・Webページ「食育ネットあいち」の更新については、県の「食育ネットあいち」で、何かイベント等で広報したいような内容がありましたら、ホームページに掲載をしておりますので、尾張農林水産事務所にお問い合わせしたいと思います。

・いいともあいち運動につきましては、県の地産地消の運動として、愛知県産の農林水産物を取り扱っているお店や飲食店、そういったお店を推進店として登録しております。そういった推進店の募集をしたり、いいともあいちfacebook等を通じて、地元の農産物を取り扱っている推進店等の情報を広く公開しておりますので、また機会がありましたらぜひご覧いただければと思います。

・「食育推進全国大会 in あいち」について、資料5（カラーのチラシ）のチラシのことになりますが、第17回食育推進全国大会は、コロナの関係で2年前は中止になりましたが、今年度6月18、19日、A i c h i S k y E x p oで開催されます。チラシの裏面に18、19日当日のイベントの予定等記載しておりますので、お時間等ありましたら、ぜひご参加いただければと思います。

#### 事務局)

・資料6 ページをご覧ください。本日桃ヶ丘小学校の森川委員は欠席と伺っておりますので、事務局から代理で報告させていただきます。市内の全小中学校で食に関する指導の年間計画を作成し、各担当が計画に従い食育の指導を重ねるとともに、栄養教諭、栄養職員が各学校へ出向き、食に関する指導を行っています。桜井委員からもお話がありましたが、農協さんのご協力をいただきながら桃、野菜、田植え体験などの農作物作りの体験を行っています。

・7 ページをご覧ください。三ツ淵保育園の熊澤委員も本日ご欠席のため、事務局から報告させていただきます。園での野菜作り体験を通して食への興味関心や豊かな心を育てていくことを目標として、食育に関する活動を行っています。三ツ淵保育園では、畑で育てたイチゴが5月に入って収穫できるようになり、年長組がイチゴジャムを作って食べる計画をしているということです。こういった体験を通して、少しでも食への関心、豊かな心、体を作っていくと報告を受けております。

・8 ページをご覧ください。私立幼稚園連合協議会代表の齊藤委員も欠席と伺っておりますので、事務局から報告させていただきます。米作り体験、野菜作り体験など実際に体験することを通じて、食育に関する指導を行っていくと報告を受けております。

・10 ページをご覧ください。こまき環境市民会議の倉知委員も本日、欠席と伺っておりますので、事務局から報告させていただきます。

廃食用油の回収について、昨年度に引き続き今年度もやっていきたいということで伺っております。それから、菜の花プロジェクトについて、市内に3か所、菜の花畑を設置し、菜の花から菜種油を作っています。菜の花畑の手入れの労力の負担が大きいという問題点はありますが続けていきたいと伺っております。

#### 石田委員)

・11 ページに書いてあるとおりですが、親子料理教室を8月に予定しております。今までコロナの関係で開催できなかったもので、開催できるといいなと思っております。内容は、飾り巻き寿司で、親子で一緒に取り組んで、食の楽しさを伝えていきたいです。

・私どもの研究会は農家の主婦の集まりで、自分たちで作った野菜、米等を使って料理教室を行う予定です。今年の農業祭の展示は、お米が日本人にとってとても体にいいものだという内容を展示していきたいと思っております。

#### 倉橋会長)

・それでは、これからの時間、少し意見交換をさせていただきたいと思えます。委員の皆様方から、何かこの取り組みに関しましてご意見等がありましたらお願いしたいと思えます。佐藤委員、お願いいたします。

#### 佐藤委員)

・この2年間、コロナの関係で食育の活動が非常に難しかったのではないかなと思えます。昨年度、県でも食育の研修会やイベントを行う際に中止にすべきかどうかなど、いろいろ迷いながら開催しておりました。食育のイベントを行う際、例えばWebで行ったとか、こんな工夫、感染対策をして実施しましたとか、そういう事例があればお伺いしたいと思えます。

#### 事務局)

・小牧市もこのコロナ禍の2年間は手探り状態で、なかなか思うように活動ができなかったのが現状ではありますが、その中で取り組んだこととして、先ほども少しお話をさせていただきましたが、ドライブスルー型のフードドライブを行いました。フードドライブは、既に市内の民生・児童委員さんたちが地域の支え合い活動として行っていたのですが、コロナ禍で会館等の利用制限により、活動ができなくなってしまったという経緯があり、そういった支え合い活動を継続するとともにコロナ禍で生活困窮者も増えているということで、食育の推進とともに生活困窮者を支援するために、行ったものがあります。具体的には、ふれあいセンターで、参加者が車で食料を持ってこられ、私どもが車の窓から受け取って、そのまま帰っていただくという形で行いました。

・また、子ども食堂の活動について、食堂という形ではなく、お弁当形式でお弁当を配って子ども食堂の活動を継続しました。

・保健センターで作成したのですが、「おうちごはんを楽しもう」ということで、市ホームページに、こういうときだからこそおうちごはんを楽しめる、栄養も配慮した家で簡単にできるおうちごはんを楽しめる料理をというサイトを立ち上げました。

#### 倉橋会長)

・先ほど「2021年度教育研究プロジェクト報告書」を配付させていただきました。私と夏目副会長は、犬山市と言ってもほとんど小牧市と隣接されたところにあります名古屋経済大学管理栄養学科に所属しております。本来ですと名前が経済大学ということではなかなか管理栄養学科があるようなイメージがないのですが、こういった中でも管理栄養学科が取り組んでいることを少しでも多くの皆様に紹介していこうということで、昨年度、この報告書にありますように4つのプロジェクトに取り組みました。①最近健康や栄養とスポーツを絡めてスポーツ栄養に非常に興味を持つ学生が多いということからスポーツ、②本学の特性として大変留学生が多いので留学生、③健康、④私たちが今こちらにありますが地域連携、この4つのプロジェクトを今はなかなか学外ではできないので、ならば学内でということで学生が主体となって1年間取り組んできました。

・概要をこういった形でまとめ、少しでも市民の方、多くの方にご紹介していきながら、ここから何か管理栄養学科の特性を生かした広がりができないかと考えております。健康の部分に関して、昨年度新たに始めた事業もございますので、夏目副会長からお話をお願いします。

#### 夏目副会長)

・報告書5～6ページに記事がありますが、メタボリックシンドロームの予防について、学生が自ら勉強してリーフレットを作成しました。なおかつ集団栄養教育という形で、学内ではありますが、健康診断の結果で脂質異常や高血圧になっている教職員や学生が多いということで、それをテーマに栄養教育の指導をさせていただく機会を設けました。

・学生たちもこのような人様の役に立てるということが、社会貢献の意識や自らへのモチベーションを高めるということにつながっていくということが非常によく分かり、今後は学生たちもより大きく社会貢献できるように、コロナがもう少し落ち着きました

ら、地域の皆様のもとに何らかの形で健康づくりに関わるような場が設けられたらいいなということを考えております。

・今、コロナ禍でこの会の皆様もいろいろご苦労されているかと思いますが、落ち着きましたら、私どもの学生や大学のほうと協力させていただける部分があれば、地域活性化のためにお力添えいただいて、またこちらも何らかの形で精いっぱい尽力させていただいて、よりよい地域づくりに貢献できましたらと考えております。今後ともよろしくお願いいたします。

#### 倉橋会長)

・それ以外に何かご意見等ございますでしょうか。他にご意見もないようですので、議題（１）令和４年度食育に関する取り組みについてを終了いたします。本日の議題はすべて終了いたしましたので、進行を事務局にお返しいたします。

### 5. その他

事務局より資料４、５を用いて説明。

#### （１）第３次小牧市食育推進計画について

資料なし

・より健康づくりの視点により食育を推進するために、食育を推進する第３次小牧市食育推進計画を２年間延伸し、令和５年度までとし、健康づくりを推進する第２次健康日本２１こまき計画と統合予定であり、今年度、来年度２年間かけて、両計画とこれを推進する会議体の整理を行っていく。

#### （２）食品ロス削減推進サポーター制度について

資料４参照

・消費者庁が地域等において食品ロスの削減を担う人材を育成するために食品ロス削減推進サポーター制度を創設。サポーターになるためには、７月に開催予定のＺoomを用いたオンラインでの養成講座を受講後に簡単な試験を受験し、消費者庁に登録されることによってサポーターとして認定される。興味、関心がある方は、資料４の３枚目「受講日程の確認票」を直接消費者庁まで申し込む。

#### （３）第１７回食育推進全国大会 in あいちについて

資料５参照

・６月１８日・１９日、愛知県国際展示場において開催される第１７回食育推進全国大会 in あいちについて紹介。

### 6. 閉会